

週日の説教

金 大烈 神父 2010年8月13日(金)

《夫婦の関係は奇跡です》

主の平和

結婚もしたことのない神父が、夫婦の関係について話すのは、やっぱり自然ではありません。しかし、結婚なさってから何10年も立っている、完熟な夫婦生活をなさっている皆様にも、ある程度、もどかしさがあると思います。自分が感じた事だけ簡単に申し上げます。

うちの教会は結婚してから信者になった人が多いので、結婚の相談とか、夫婦の問題で相談を求める人は殆どいないです。しかし私が向こうにいた時には(韓国で司牧していた時)若い夫婦が少なくても信者の半分ぐらいはいましたので、色々なトラブルについて相談を求める人々が多かったのです。

その話を聞いてみると神父でありながらも、「そんな関係は切ったほうがいい、別れたほうがいい」と思うぐらい、難しい状況に陥っている夫婦が結構いました。しかし、私の立場ではどうあれ「別れていいよ」とは言えないのですよね。それは不便なところです。「出来るだけ、どうすればこの二人が上手く関われるのか」と自分も悩みながら色々な方法を探してみるのですが、なかなか道が見えない二人の関係がありました。ですから私から直接に「別れたほうがいいよ」と言わなくても、結局「私達、別れる事にしました。」という時に「何故、別れる決心をしたのか」と私がしかる事が出来なかった関係も結構ありました。

とにかくそのような関係ではなく、私達のような普通の関係について考えてみたいのです。ひとつだけ覚えてみましょう。大体、夫婦関係がいい人達には同じように流れている共通点があります。それは何だと思えますか。その共通点は“自分が相手によくやった事よりも、悪かったと考えるほうが多い事”です。大体夫婦の喧嘩と言えば「私はこれだけやってあげたのに、この人はこれだけか」という思いで、寂しい気持で、いつも相手に「この人に会ってよかったのかどうか、本当に騙されたのではないか」と、いろんな事を思うものです。

しかし、夫婦の絆が綺麗な人達をみますと、自分がよくやってあげた事を思わず、いつも上手く出来なかったことを、自分が悪かった事ばかり考えるのです。出来るだけそれを直そうとする動きが目に見えるのです。皆様はどうですか。騙されたほうでしょうか。騙したほうでしょうか。(笑い)皆同じ気持ではないでしょうかね。しかし、皆様は信仰がありますので、その信仰によって乗り越えた事も結構あると思います。

自分の親の夫婦生活をみても色々ありました。子供の目でみたら、本当にちっぽけな事で腹を立てている姿もありましたし、二人で祈る姿も沢山みて来たのですが「ああ、これが夫婦なのだなあ」と思った時もあるし、ときには親の事をみて、「私は結婚したくない」と思って、このように神父になったかも知れません。(笑い)とにかくいい面をとらえればいいのではないのでしょうか。

私達の普通の関係も同じですよ。一番傷をつけたり、傷をもらったりする関係であるのは夫婦関係だと思います。ですから私が相手からやってもらわなかった事を考えるより、私が相手のために、今まで犠牲とかいろんな言葉を使いながら思いやってあげた事を思うことより、自分をもっとやってあげたらその人がもっと幸せになったのに、それが自分の利己心のために出来なかった。そのような方向で考えるのが、知恵ある夫婦生活ではないかと思います。

そして、何よりも私達が考えなければならないひとつのことがあります。大体私達は相手を自分が選んだと思います。「まあ、この人は自分が選らんだのだからしょうがないよ」「自分の責任だ、私はその時騙される方法しかなかった。」(笑い) そのように思って相手を見るかも知れないのですが、信仰を持っている私達の立場では、はっきりしなければならない事があります。この絆はこの結びは自分が作ったものではありません。神様が結び合わせて下さった縁です。そういう面では「私が自分勝手に切るかどうか」の権利の問題ではありません。「この人は、私に一番相応しい、適う相手として神様が結び合わせて下さった。」もしそのような気持ちがしなかったら、この人は私のために「私の信仰が深まるようにイエス様が機会を下さった。」と。そのように受け取らなければならないと思います。信者は絶対に自分の意思で相手を選んだと思わないで下さい。神様の許しがあつたからその人と出会った事、そのような縁を続けるようになっている事。そして、永久にこの縁は切れない事を意識すれば、何よりもこの夫婦関係のためにどうすれば、私が一番綺麗に、一番美しくこの関係を作る事が出来るのかと、祈りを求めるのではないかと思います。夫婦は私の感覚で言えば奇跡です。(笑い) 本当に奇跡ですよ。

今日の福音(マタイ 19・3-12)に私のように結婚しない者には、結婚できない三つの種類があると書いてありましたね。ちょっと読んでみましょうか。『結婚できないように生まれついた者』、じゃないでしょう。『人から結婚できないようにされた者』、じゃないでしょう。『天の国のために結婚しない者』この項に入るのでしょうか。(皆がハイ)それも神様しか分かりませんね。信仰を持って私が偉そうに「天の国のために結婚しなかった」と言うのもちょっと相応しくないと思います。とにかく皆様はその器が出来ているから結婚が出来たわけです。(笑い)私はその器が出来ていないからこのような生き方をするのかもしれませんが。(笑い)いいえ、そうではなくて自分がこの道が好きなので、イエス様が導いたように応じる事が出来たと思います。

皆様、皆様が応じたその素晴らしい奇跡、その奇跡を楽しんで下さい。

ありがとうございました。